



九州大学生協 六本松書籍部店長

こはた かずこ
小幡 和子

- 学部構成 全学部1・2年生
(法・文・経済・教育・理・工・農
・医歯・薬 各学部)
大学院—比較社会文化研究科
- 人数構成 学部生 約5000人
大学院生 約260人
教職員 約270人

●書籍売場面積 28坪

●担当者プロフィール

書籍を担当して20年余り。文・理系店を経て、このキャンパスで7回目の夏を迎えました。振り返れば、私自身のささやかな読書履歴にも、季節が移り変わるように変化の跡がみとれるのですが、音楽の嗜好だけは何故か進化(?)しないまま、M&Yにはまり、ショパンに魅せられ、現在に至っています。趣味は「仕事」という持ち場を離れ、本を読む事と、シネマ鑑賞。

九州大学には、各キャンパスに4つの書籍部があります。六本松店の特徴として、利用者の皆さんの学究分野の幅の広さ、層の厚さ、ニーズの多様性が挙げられると思います。

文系・理系を横断する全学部生が学び、異なる社会文化の共生をめざし研究に励んでいる院生の中で、アジア諸地域からの留学生や社会人入学の方の占める割合が高いこと。また、教官の方々の研究領域も人文社会から理系分野まで、広範多岐にわたっています。

そのようなキャンパスの特性に応えられる専門性と、オールラウンドな広がりをあわせもった店舗として、品揃えへの充実をはかっていく事が課題の一つとなっています。

最近の動向としては、留学生をはじめ院生の利用の拡大があげられます。その研究分野も、歴史・文化から人類学・ジェンダー研究に及び、書籍との密着度の高い彼らの要望に添えるよう努めていますが、スペースの制約もあり充分とは言えず、今後の課題となっています。そうした中で、インターネットによる和書・洋書の検索発注は、利用の広がりをみせてきています。

日常の店舗活動の制約を補い、より多くの本と接してもらえるように、季節感を取り入れたミニ企画を行ったり、要望の高い出版社の協賛を得、年2回のペースで独自に特価フェアを実施してきました。

また、キャンパス人口の中で大きな比率を占める学部生の最近の傾向としては、雑誌の購入量が伸びてきていることがあげられます。この現象が、学生の皆さんが頻繁にお店に足を向けて下さっていることの反映とするならば、とても嬉しいことです。

新学期後に、学生総代の方達と交流の場を持つ事が出来ましたが、そこで寄せられた活発な御意見や要望は、「自分たちの書店」への期待度の顕れだと思ひ、是非今後の「皆さんの店」づくりを生かしていきたいと思います。

最後に、大学生活にも馴染んでこられた新入生の皆さんへ——。「他のキャンパスへ講義を受けに行かれた際には、是非そこにある書籍部も覗いてみて下さい。違った個性を持った「貴方のお店」に出会えるはずです」

7月のベスト5

1. ナショナル・ヒストリーを超えて
小森陽一・高橋哲哉 編/東大出版会
2. 現代思想の冒険者たち 9「ベンヤミン」
三島憲一/講談社
3. 20世紀システム 4「開発主義」
東大社会科学研究所 編/東大出版会
4. ナショナリズムとジェンダー
上野千鶴子/青土社
5. 世界の歴史 第2巻「中華文明の誕生」
中央公論社

私の薦めるベスト3

いのち響きあう	森崎和江	藤原書店
トランスポジションの思想	太田好信	世界思想社
〈日本人〉の境界	小橋英二	新曜社